学校番号	1008

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学)数学演習理系	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	ニューグローバルマーチ数学Ⅰ＋A＋Ⅱ＋B＋C　新課程　（東京書籍出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・理系進学志望の人向けの演習科目ですので、他の演習科目に比べて基礎的な内容は扱いません。そのため、知識や平方完成と言った基本的な技能は各個人で学ぶ必要があります。
・授業は生徒の皆さんが問題を解説し過不足に対して教員が添削をするように展開します。皆さんの思考や判断を文字や口頭で表現することで問題への理解を深めていきます。
また、同時に聞き手にも質問を投げかけるように促すことで批判的思考を求めます。
・課題への取り組みや発表の練度を十分満たすためには学習習慣を要します。最後まであきらめずに取り組み続ける心構えが必要です。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・Cの基本的な概念や原則・法則を理解並びに数学的な解釈をし、表現・処理することができる。
【思考力、判断力、表現力等】
数学的論拠に基づいて問題の解法を解説し、説明された内容を批判的に考察・判断ができる。
【学びに向かう力、人間性等】
解説された解法について深く考察しようとする。
数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現しようとする。
粘り強く考え数学的論拠に基づいた解答をしようとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・Cにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現できる。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	数学Ⅰの範囲	数と式 図形と計量 二次関数 データの分析	a:数と式，図形と計量，二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理できる。 b:命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形できる。図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現できる。関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察できる。社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断できる。 c: 数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善しようとしている。	確認テスト 単元テスト 定期テスト	確認テスト 単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート 発表 観察
	数学Aの範囲	場合の数と確率 図形の性質	a: 図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理できる。 b: 図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察できる。不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断できる。 c: 数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	確認テスト 単元テスト 定期テスト	確認テスト 単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート 発表 観察

二学期	数学Ⅱの範囲	いろいろな式 図形と方程式 指数関数･対数関数 三角関数 微分･積分の考え	a:いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分･積分の考えについての基本的な概念や原理･法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理できる。 b:数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察できる。座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察できる。関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察できる。関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的･発展的に考察できる。 c:数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価･改善しようとしている。	確認テスト 単元テスト 定期テスト	確認テスト 単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート 発表 観察

	数学Bの範囲	数列 統計	a: 数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりできる。 b: 離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察できる。確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察できる。日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察できる。 c:数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善しようとしている。	確認テスト 単元テスト 定期テスト	確認テスト 単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート 発表 観察
三学期	数学Cの範囲	ベクトル 二次曲線 複素数平面	a:ベクトル，平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理できる。 b: 大きさと向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察できる。図形や図形の構造に着目し，それらの性質を統合的・発展的に考察できる。数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現できる。 c: 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善しようとしている。	確認テスト 単元テスト 定期テスト	確認テスト 単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート 発表 観察
	実践演習	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C	a:上記対応箇所参照 b:上記対応箇所参照 c:上記対応箇所参照	確認テスト 単元テスト 定期テスト	確認テスト 単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート 発表 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度